

理科學術談話會々報 第十號

目次

○講話

石英硝子ノ話

平田 教授

肉食植物ニ就テ

勝馬ミツ良

試示藥ニツキテ

八石りと

やまうつばニツキテ

辻村みちよ

ころいどニツキテ

安在し竹惠

○寄稿

太陽の莖外線による水の分解

江澤 駒路

性ノ限定

保井コノ

廣 告

本會ハ振替貯金ニ加入致候其口座ハ

東京 五九〇七番

本郷區東京女子高等師範學校内

理科學術談話會

ニ御座候間會費ハ右宛ニ御拂込下サレ度且ツ前會ニモ廣告致候通會計ノ整理上困難少カラズ候ヘバ會費未納ノ方ハ何卒此際全部一度ニ非ズトモ宜敷候ニ付便宜御拂込下サレ度希望之至ニ御座候

追テ會費ハ一ヶ年分金八拾錢ニ付何卒端數ノ出來ザル様又未納之金額ハ御便宜ノ爲メ貴方ヨリノ通信文記載欄ニ印刷致置候間御覽下サレ度餘白ニハ何ナリトモ御通信事項御記入下サレ度候

明治四十四年十一月 日

理科學術談話會

理科學術談話會々報 第十號



石英硝子ノ話

教授 平田 敏雄

頃日數種の石英硝子製器具を購ひたれば之に就て講話を試みんと欲したれど之に關する文書の纏りたるものを得ること難く漸く左ノ一小冊子を得たり
Quarzglas. Seine Geschichte, Fabrikation und Verwendung, von Paul Günther.
左に記せるは主に本冊子に據れるものなり

第一 歴 史

硝子は古昔既にエヂプト人の知れる所其製法は近時種々改良せられたりと雖も近時の工業は未だ之を以て満足する能はず從來の硝子に見ざる他の性質を具備せるものを要求す特に顕微鏡用、寒暖計及び化學用器具の製作には現時の硝子よりはより多く可塑性を有しより多く不溶解により多く透明にして特に温度の急變に堪ふるものを要求す而して此要求は最近十年の研究結果吾人の